



かみのせき 議会だより

2017
1/27

No.137



凧を作ったよ!! (放課後子ども教室)

平成 28 年 12 月定例議会

議案 補正予算・条例・意見・規約の変更	-----	2～3P
一般質問 (4名が町の取り組みを問う)	-----	4～6P
委員会視察研修報告	-----	7P
研修報告、要望・陳情、編集後記	-----	8P

謹んで新年のご挨拶と申し上げます



議長
西 哲夫

あけましておめでとうございます。町民の皆様にはお健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は「熊本・鳥取地震」「集中豪雨」「大型台風」等で南は九州から北は北海道まで甚大な被害が発生しました。幸い本町には自然災害の発生はなかったものの、近年は予測もつかない大規模災害が多発する傾向となっています。上関町も有事に対し万全な対策を講じておく必要があります。住民の安全・安心を考えれば老朽化した町役場の建て替えは急務と考えています。

また、人口減少率、高齢化率をみますと山口県で一番進んでいて、町の存続に危機感を抱かざるを得ない事態となっています。財政状況は人口減少に伴い地方交付税の減額、産業経済の低迷、町民税の落ち込みにより歳入は減収状況が続き、一方で社会福祉費は膨らみ収支のバランスが崩れている事態が続いています。

財政の弾力性を示す経常収支比率は高い水準が続き硬直化しています。執行部も事態改善に懸命に取り組んでいますが、事業、要望は多種多用であり、新たな財源を求め財政の健全化に取り組みなくてはなりません。企業のない町には大変厳しい状況です。さらに今後は国が地方に財源を手厚くするようなことは期待できません。

町の課題はいろいろありますが、「財源不足」「急激な人口減少」が大きな課題であり執行部も「財源確保」と「定住対策」の政策を進めています。課題解決には困難を極めています。今年度は力発電事業の工事も始まり来年度末には売電が始まる予定です。「ふるさと納税」も更に積極的な取り組みをし、財源確保と若者定住対策に引き続き取り組む政策を進めています。議会といたしましても町の置かれている状況を踏まえ、困難な課題に執行部と共に積極的に取り組み、皆様の負託に応えてまいりたい所存でございます。住民の皆様にも町が置かれている状況をご理解いただき、ご支援、ご協力いただければ幸いです。

結びに本年が平穏で皆様に幸多き年となりますようご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

議案・行政報告

12月定例議会

議案説明に先立ち、9月定例議会以降の行政の執行状況や諸行事について報告がありました。

秋から冬にかけての諸行事について

1点目は、11月3日・文化の日に挙行した「上関町定例表彰式」では8名の功労表彰がありました。

2点目は、10月2日に「2016サザンセット・ロングライドインやまぐち」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、北は北海道から南は鹿児島県までの986名の方々が参加されました。

昨年に引き続き、「道の駅上関海峡」周辺にエイドステーションを設け、地元食材を使用した海鮮鍋などで、参加された方々をおも



山口県豊魚祭
(稚魚の放流)

てなしの心をもって歓迎をさせていただきます。

3点目は、11月20日に開催されました第28回愛・ランドフェアおよび山口県豊魚祭について、今年の本町の秋の恒例行事であります愛・ランドフェアと山口県豊魚祭実行委員会が主催する山口県豊魚祭と合同開催いたしました。

山口県豊魚祭は、森・川・海の自然の恵みを再発見し、幅広い環境保全の必要性を見つめ直すことにより、水産業の現状や将来のあり方について理解を深めることを趣旨としています。村岡山口県知事をお迎えし総合文化センターで式典を開催、その後、室津港においてキジハタ・ヒラメ等の稚魚の放流を行い水産業の振興を願いました。

道の駅上関海峡周辺の会場では、例年出店するブースに加え、山口県漁協の町内および周辺市町の支店からも出店をしていただき、鮮魚や水産加工品、農産物などの販売が行われ例年にも増して大勢の方々が訪れ大変な賑わいをみせました。

また、総合文化センター

の館内では、町民の皆様の日ごろの活動の成果である作品の数々が展示されました。

ホールにおいては、小学生による水軍太鼓の演奏や中学生による合唱、保育園児の遊戯、フラダンスショー、芸能祭などが催されステージを盛り上げました。屋外で行われた催し物と併せて、来場された方々は十分に楽しんでいただけたものと思っております。

昨年から、会場を町民グラウンドから道の駅上関海峡の周辺および総合文化センターに移動して開催しておりますが、これらの施設を拠点とし、今後の地域活動・広域交流の場として、多くの皆様に利用していただきたいと思っております。改めて、このイベントに参加していただいた皆様をはじめ、準備・運営に携わっていただきました関係各位のご協力に深く感謝申し上げますとともに、愛・ランドフェアを今後も地域に根付いたイベントとして、さらに魅力のあるものとして実施して参りたいと考えますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成28年度補正予算

12月定例議会は、12月6日から14日までの9日間で開かれ、原案のとおり可決・承認されました。提案議案は、平成28年度一般会計および特別会計の6会計の歳入歳出補正予算および条例の制定4件、意見1件、規約の変更1件。

一般会計

歳入歳出予算総額に、それぞれ2161万円を増額し、歳入歳出予算の総額を33億7551万6千円とする。

◆補正予算の主なもの

歳入は、臨時福祉給付金給付事業費 国庫補助金、国民健康保険保険基金負担金の増額。



購入したスクールバス

特別会計

歳出は、それぞれの費目での給与改定に伴う人件費および臨時福祉給付金給付事業費の増額、特定個人情報に関する安全管理措置策定支援業務委託料、パソコンの購入に係る費用、スクールバス購入費用の減額。

◆平成28年度の特別会計における補正予算

主なものは、それぞれの会計での給与改定に伴う人件費の増額、介護保険特別会計では、居宅介護サービス給付費の減額と地域密着型介護サービス給付費の増額、へき地診療所特別会計では各診療所のパソコンの購入費の増額。

条例の制定

◆上関町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

地方公務員法の改正および山口県の給与改正に伴い、上関町の職員等の給与を改めるもの。

◆上関町職員の勤務時間、休日および休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い改正するもの。

◆上関町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の改正に伴い改正するもの。

◆上関町定住促進住宅設置および管理条例の一部を改正する条例の制定

室津地区に建設された上関町定住促進住宅(3戸)を追加するために改正するもの。



【資料：山口県府土木建築事務所管内図】

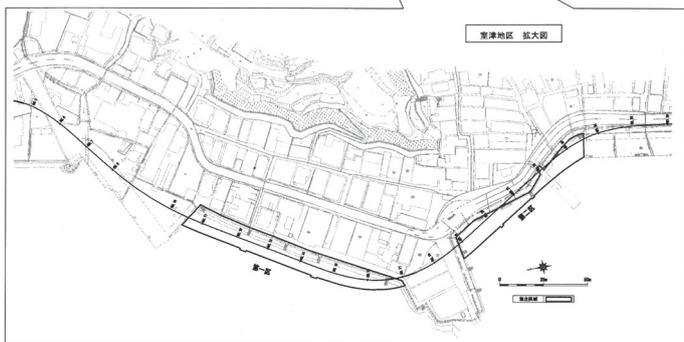


図 1-1-1-3 埋立計画地位置図

室津港湾埋立計画地位置図 (道路改良)

規約の変更

◆柳井地域広域水道企業団規約の変更

柳井地域広域水道企業団事務所の所在地の地番の変更に伴い規約の一部を改正するもの。

意見

◆公有水面埋立てに関する意見について

公有水面の埋立て免許に関する山口県知事の諮問に対し、意見を述べるもの。

災害対策について

答 備えあれば憂いなしの精神で

高齢者の多い本町では、地震等の災害時の対策は十分に準備しておかなければならない。どこに避難するのか、だれがどう行動したらいいのか普段から心がけておくことが重要だ。また、適切な判断や行動が速やかにとれるよう訓練も必要だと思う。本町が指定している避難場所について、機能が十分果たせるのかどうか、町の評価を問う。

質問



清水 敏保 議員

町政のことが聞きたい

一般質問



消防出初式での放水訓練

常日頃から、地域の実情に応じた防災対策、災害時の対応などの話し合いを行い、地域住民同士が共に助け合い、共助の精神により防災訓練などを行い、強固な防災体制を築き上げることが重要。避難場所については、災害の種類ごとに定められているので一人一人が確認していただきたいが、災害対策本部となる役場をはじめ老朽化が進み、段階的に整備する必要がある。

町長答弁

上関町特産物センターの今後の運営は

答 町の実情にあった施設に

現行の形は、平成4年から特産品の展示・販売を目的として始まり、地域活性化に寄与してきた。そんな中、原子力発電所工事が一時中断を余儀なくされ、関連事業者の撤退などの人口流出、人口減少、道の駅との運営内容の類似、出荷者の重複、販売商品の品薄など諸問題も発生している。今後の運営は厳しい状況が予測され、改善も必要と考える。町の所見を問う。

質問



嶋尾 忠宏 議員

経営が厳しい状況ではあるが、町の実情を考慮すると、存続していきたい。存続に当たっては、原点に立ち返り、一から見直しをし、特産品の販売に限らず、住民の方が日常の生活の中での利便性を確保するための施設とする必要があると考え、総合的に判断し、地域の実情にあった施設にしていきたい。現状を考えると早急に方向性を示していく必要がある。

町長答弁



上関町特産物センター

町の農業対策について

答 農道の大規模改修は困難だが



山戸 貞夫 議員

質問

現在の町の農業は、高齢化、農道整備、イノシシ対策等産業存続への喫緊の課題が山積している。

特に祝島の農道は、もともとテトラという耕運機規格の車両運行を想定した狭い道幅となっている。しかし、昨今、車幅のある軽自動車利用も増え、その上農道も未補修箇所も多く指摘されている。地元農家からの農道改善・改良要望にどう応えていくか。



早期改修が待たれる北野農道

町長答弁

祝島の農道はテトラが通行できる程度の幅員箇所が多く見られる。ただ、地形が急傾斜のガケ地にあるため、改良には大規模工事が予想され、実施は大変厳しいものがある。今後、島の東部に通じる農道のように、最低でも道路を簡易舗装するくらいは、おいおいやれればと思っている。

イノシシ対策は、農産物等の保護、捕獲駆除以外に現在考えられない。

県議会原発推進意見書可決について

答 働きかけはなかったが

質問

先の山口県9月定例議会にて、原発推進を求める意見書が可決された。8月3日村岡県知事による上関原発埋立延長申請許可がなされたばかりの時期のため原発計画を覆う不自然さや政治的意図が感じられる。

今回の意見書について、町長には別途事前に連絡があったのか否か。また連絡のあるなしに関わらず意見書についてどう評価されるのか、お尋ねする。

町長答弁

意見書について事前に連絡はなかった。ただその内容の推察だが、福島の復興・再生に国が前面に出ることのほか、立地地域の振興対策が要望されている。これは重要電源開発に指定されている上関原発を差し示しているものと思っている。上関町の厳しい財政状況など地域の実情を汲みとり、配慮いただきたいことは、素直にありがたいと思っ



山口県庁 議会棟

風力発電事業について

答 平成 30 年度に運転開始予定

風力発電事業については7月の臨時議会で風力発電事業建設工事・工事請負契約が可決・承認された。事前調査報告では、事業地周辺における陸生動物および騒音・低周波音・振動の現況を調査し、その結果、環境に与える影響は少ないと評価された。資料を基に比較してみると、これまでは順調に進められているが、現在の風力発電事業の進捗状況と今後の見通しは。

質問

海下竜一郎 議員



上盛山山頂周辺

風力発電事業に伴う環境調査の結果からの予測等評価がまとまった。地元地区への説明会は、調整し早急に開きたい。現在、測量調査や地質調査を参考にし、町道拡幅工事や風力発電サイトの造成、新たな進入路の実施設計を行なっている。平成30年度の夏に風車を現地へ搬入し、試験運転、使用前自主検査、国の検査を終え、30年度内には営業運転開始となる予定。

町長答弁

ふるさと納税について

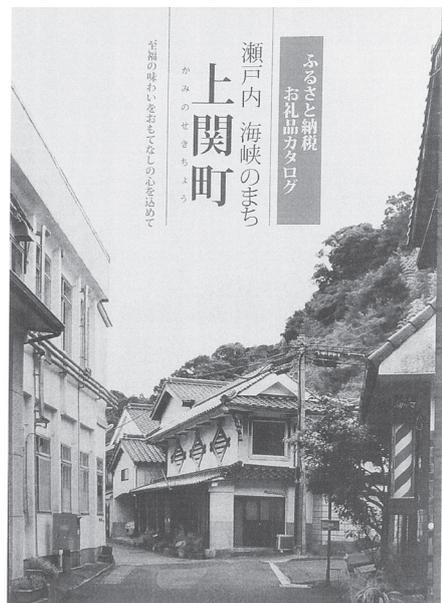
答 町の活性化につなげたい

以前ふるさと納税の制度を利用して地域の特産品や産業をアピールし、自主財源の確保、産業の活性化。そして町の活性化につなげていけることが出来ればと質問した。先日、先進地の視察研修をして、当町のような小規模自治体にとって大きなメリットがある取り組みというのを再認識した。12月現在の寄附金の実績と、今後の展望をうかがう。

質問

町長答弁

今年度はふるさと納税返礼品カタログを作成し、12月9日現在、寄附件数が359件、寄附額が1502万1千円で、最終寄附額は昨年より2倍に達すると考える。今後も町の特産品を全国にPRし、地元関係機関の協力を頂き、町内の産物に目を向け、返礼品となるものを発掘し活用することにより町の自主財源を確保すると同時に地元経済、産業の活性化につなげたい。



お礼品カタログ

常任委員会視察研修報告



総務文教常任委員会

委員長 海下竜一郎

・ふるさと納税

高知県奈半利町

産業厚生常任委員会と合同で、高知県安芸郡奈半利町で視察研修してまいりま

した。

10月27日に奈半利町を訪れ、太平洋を前面に受け、風光明媚で温暖な気候という事を感じ、まさしく田舎という印象でした。

奈半利町の概況を申し上げますと、人口3472人・面積28・3km²・予算額が26億9200万円となっており、その中の税収は2億7504万円です。

人口・税収・財政規模が町とほぼ類似した町で、ふ

るさと納税額が13億円ということで大変興味がありました。

以前の町は、食品企業も町外へ売り出す加工品もなく、加工品を町外に売り出す仕組みが構築されておらず、原材料のみに目が行き、商品売り出すノウハウ・キーマン・団体もなく、人口が少ない為に、産業別の生産量も少ないといった、何もない状態の町だったそうです。

そんな中で、ふるさと納税制度が始まり、平成20年には36万円だったのが、平

加の傾向にあるとのこと。

今治市宮窪町

村上水軍は、日本中世の瀬戸内海で活動した水軍（海賊衆）で、その勢力拠点には芸与諸島を中心とした海域であり、村上海賊を観光資源として活用するため、愛媛県今治市と広島県尾道市が「日本遺産」へ共同申請し、認定された。

今回視察の村上水軍博物館は水軍に関する全国初の博物館といわれ、平成16年にオープン。館内には常設展示室と企画展示室、わく

成27年には3600倍の13億円までになりました。

寄附金の使途としては、観光・産業・教育といった分野で使われ、また、その他町長が認める事業でも使われています。

最後に、取り組みの成果として、
・寄附金の使い道によって町の全体が活性化した
・新たな特産品の流通を確保したことによる町民の収入増
・各事業所、第三セクター等の新たな雇用の場の創出
などがあげられ、一番の成

わく体験ルームなど参加体験型の展示物が多く、海賊たちの活躍や暮らしぶりをリアルに感じることができている。その中に上関町寄託（超専寺所有）の通信使上関来航図の拡大複写が、村上水軍の水先案内の実例として展示されている。

村上水軍博物館の現状については年間の利用者数は4〜5万人で推移していたが、26年度の日本遺産効果で利用者数は9万2千人と増加した。

リバンドも心配していたが、イベント効果もあ

果は、町が発展し生き残るすべを、ふるさと納税が教えてくれたと締め括られました。

当町のような、小規模な自治体にも、夢と希望を与えられる研修でした。



奈半利町役場での意見交換



村上水軍博物館

り、7万8千人と余り減少していない。本年も同程度で推移している。

今回の視察先から共に、当町との歴史的関わりが深く、多くの歴史がリンクしているとの丁寧な説明をうけ、当町は古来から、瀬戸内海全域の海路に通じた共通共用の中での重要な拠点基地を担っていたことを再認識しました。



産業厚生常任委員会

委員長 山村泰志

・朝鮮通信使
・村上水軍

呉市下蒲刈町

下蒲刈町は、当町と同じく、古くから瀬戸内海の海上交通の要衝として、朝鮮通信使も11回立ち寄った港で、この歴史資源を観光振

興の一環として、全島を庭園に見立てた「ガーデンアイランド」構想に基づく松濤園などが整備されている。手入れの行き届いた園内には、朝鮮通信使資料館の御馳走一番館や、当町から移築された吉田家のあかりの館、上関番所をモデルに再現した蒲刈島御番所など、下蒲刈島の歴史を中心に紹介している。

年間観光客は16万人程度で、今後の展望については橋が出来たことによる一時的効果や、通信使関連PRの波及効果で韓国からも増

研 修 報 告

山口県町自治研修会

9月29日、山口市で「これからの政局展望」と題しジャーナリストの須田慎一郎氏が、アベノミクスを中心に講演された。今まで企業を主体とした景気回復を図ってきたが期待に伴わず1億総活躍社会によって、2020年には、GDP600兆円を目指し景気経済の回復を具体的に進めていくだろう。それによって地方にも波及効果が現れ、地域の活性化につながって欲しいと願うとの内容でした。



熊毛郡議会広報 連絡協議会研修会

10月21日、上関町総合文化センターで熊毛郡3町の広報委員が、「議会広報の編

集体制、方針、方法等について」研修しました。



山口県町議会広報研修会

11月25日、田布施町で県内の町議会広報委員が、研修を行いました。それぞれの町が事前に質問事項を提出し、分科会（情報交換会）で意見を出し合いました。他町の様子もわかり、勉強になりました。



全国原子力発電所 立地議会サミット

副議長 岩木 和美
11月10日・11日、品川プリンスホテルでの全国原子力発電所立地議会サミットに議員7名が参加しました。

テーマは「日本におけるこれからの原子力政策のあり方」原子力発電を将来世代にどう引き継ぐか」で21世紀政策研究所研究副主幹、竹内純子氏による「わが国がとるべきエネルギー環境政策」と題しての基調講演がありました。

分科会では、賛成、反対それぞれの立場で意見が出て大変盛り上がりしました。

福島県の議員さんの「生の声」を聞いたり、参加者の皆さんとの情報交換ではお互い近況報告などをして有意義なサミットとなりました。



要望・陳情

◆平成29年度町予算編成に際しての観光協会助成について
上関町観光協会
会長 嶋尾 忠宏

◆児童生徒の健全育成にかかわる要望書
上関町PTA連合会
会長 井上 満輝

◆平成29年度商工助成に係る陳情について
上関町商工会
会長 濱田 憲昭

意見

◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を関係機関に提出しました。

提出者 上関町議会

謹賀新年

議員一同



編集後記

1月6日付中国新聞に「朝鮮通信使の船復元へ」との記事が載っていた。船は全長34m、来年3月までに完成予定とのこと。当町は来年秋に「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会」の開催を目指しており諸準備の最中です。この復元船が日韓親善友好の懸け橋として開催日に来航してくれば大きな目玉になるのでは、と期待が膨らむ。町内の開催ムードは一気に盛り上がり、異国情緒に溢れることだろう。皆様も江戸時代の上関の素晴らしさを体感して頂く良い機会です。少し興味を持ってみては？

委員会

委員長 岩木 和美
副委員長 嶋尾 忠宏
委員 海下竜一郎
委員 山戸 貞夫
委員 山村 泰志

次回定例会の初日は3月7日の予定です。